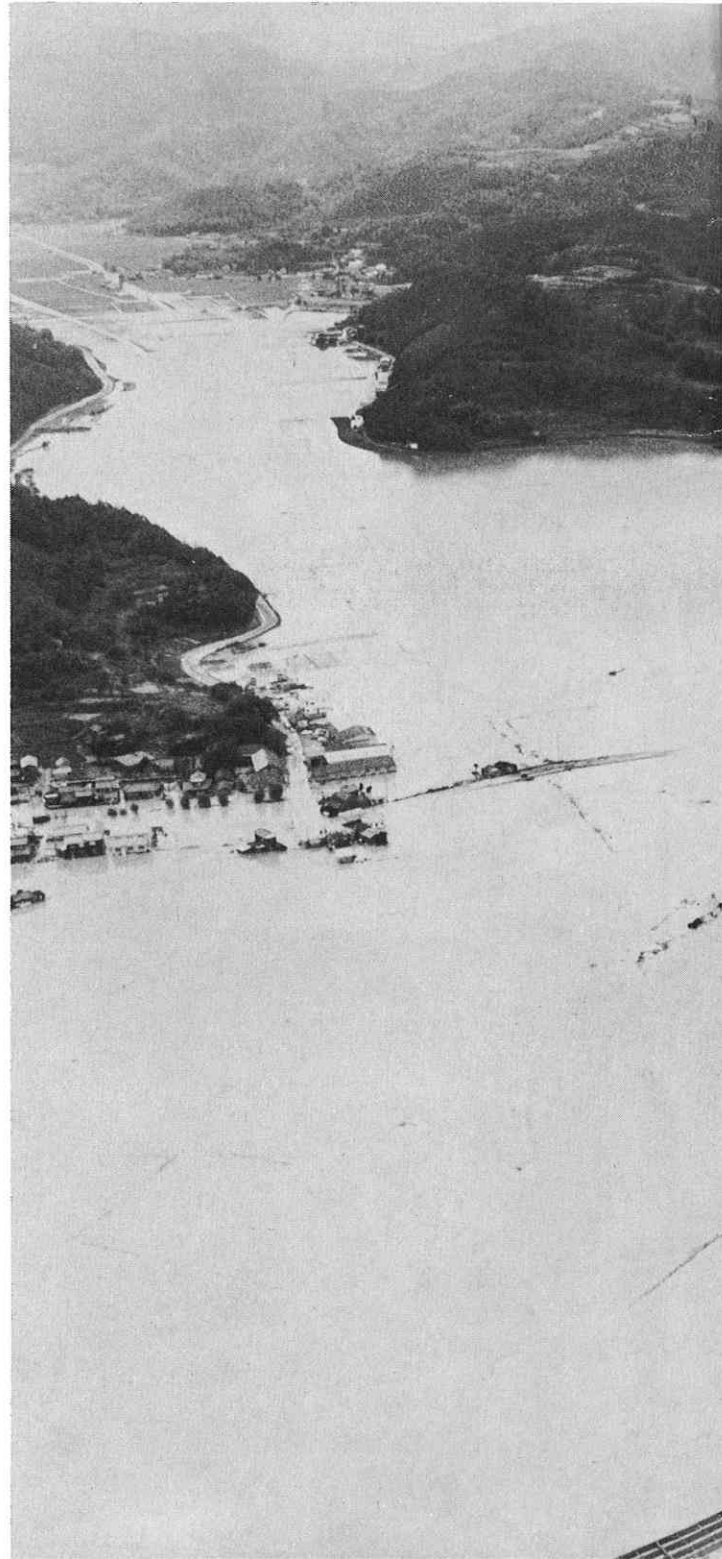


# 台風17号の災害記録

昭和51年9月



久 町 邑

## 発刊のことば

昭和51年9月、台風17号による集中豪雨が当地方に未曾有の大災害をもたらしてから早くも満2カ年になろうとしています。

この大災害に対して岡山県災害対策本部をはじめ陸上自衛隊、警察関係者、消防団及び多数町民各位の献身的なご協力のもとに、適切機敏な救援活動が連日にわたり、不眠不休で続けられた結果、漸くにして窮状を脱することができたのでありましてこれら関係者に謹んでお礼を申しあげる次第であります。

また、この間全国各地から懇篤なご慰問、激励をいただいたことも忘れることはできません。改めて深甚なる感謝の意を表すものであります。幸いにして、その後国、県、その他関係機関のご指導、ご援助と町民のたくましい努力により、災害復旧事業もそのほとんどを完成できたことはご同慶に堪えません。

刻々とはいる被災の情報、これに対応するための連絡通報などあまりに酷使した電話機は過熱して遂に支障を起す程の状態であった当時を回想するとき、誠に感慨深きを覚えるとともに、この災害とその対策の経過を記録してその中から多くの反省と教訓を学び取り将来の災害に備えることは大変意義あるものと思ひここに「台風17号の災害記録」を編集いたしました。これを契機として平穩で豊かな町づくりへ一層の精進を期する次第であります。

昭和53年9月

岡山県 水下次

# 目 次

発刊のことば

<災害写真>

第1 気象概況 .....	1
1 気象経過 .....	1
2 台風17号の特徴 .....	1
3 気象観測資料 .....	2
第2 災害情報 .....	14
第3 被害概況 .....	19
第4 防災活動 .....	26
1 防災救援活動の概要 .....	26
2 救援活動 .....	26
3 清掃活動 .....	28
4 防疫活動 .....	29
5 資金のあっせん .....	29
第5 災害復旧 .....	31
1 復旧予算概要 .....	31
2 関連事業 .....	32
あ と が き .....	33

<表紙写真> 千町平野冠水被害状況

# 災 害 写 真



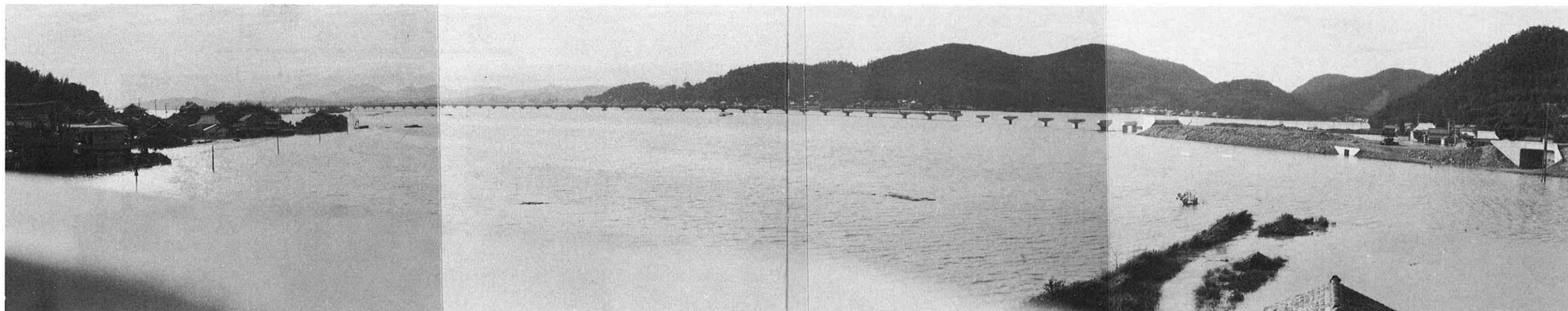
← 自衛隊・町本部員の救援出発準備  
(町役場玄関前)



← 食糧運搬中の自衛隊



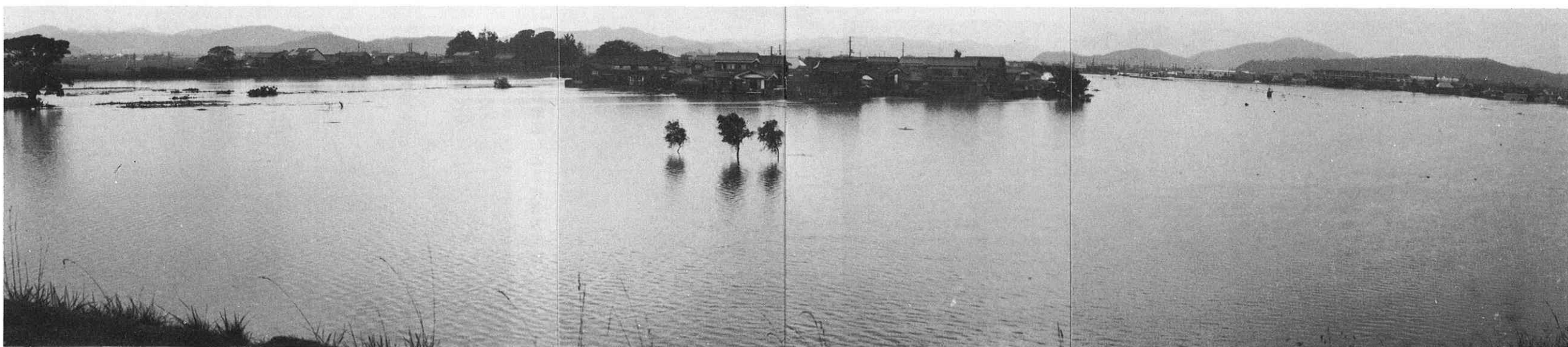
→ 自衛隊による食糧の配給



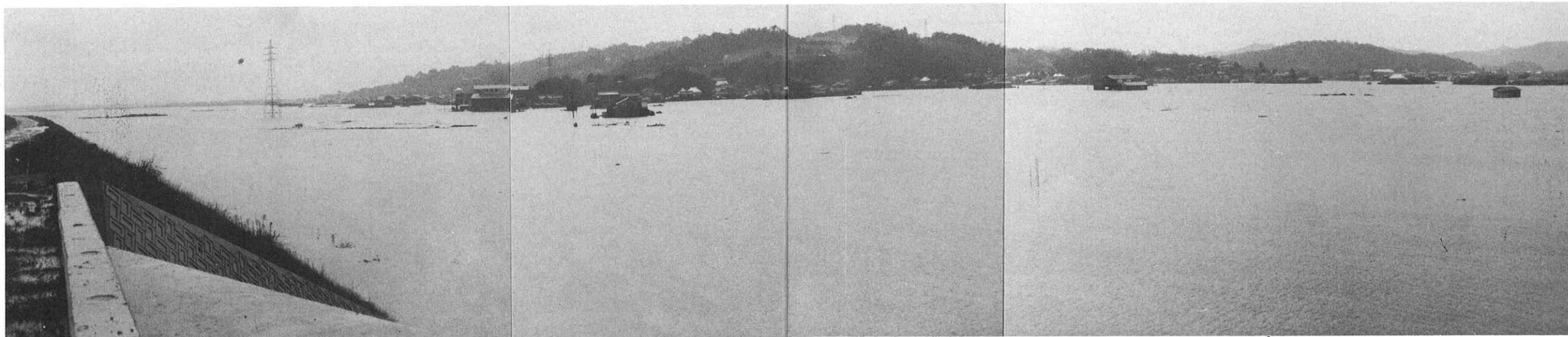
↑ 本庄、下浦部落から山手方面を望む



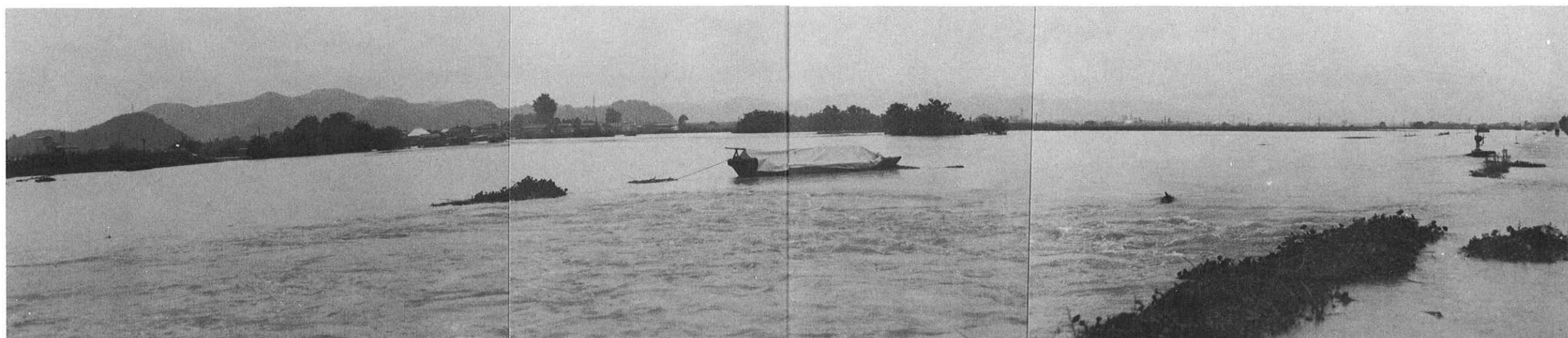
↑ 冠水時、孤立した千町部落



↑ 潤徳付近の浸水状況



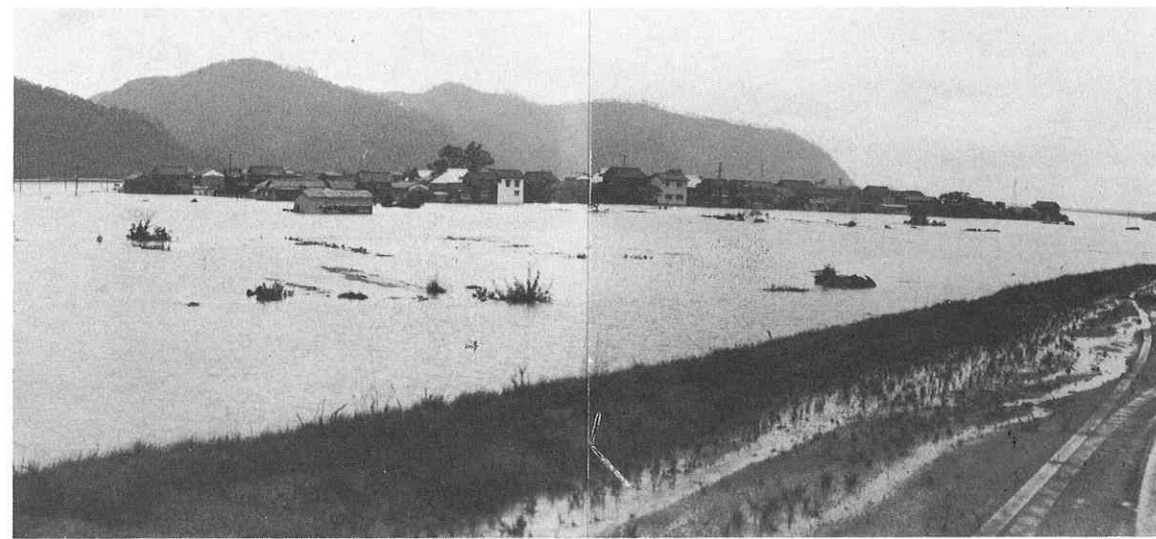
↑ 有料道路から上寺を望む



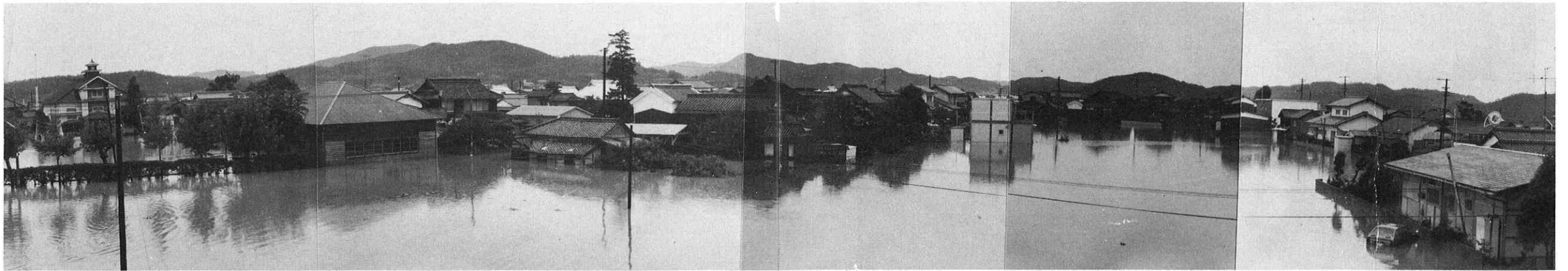
↑ 干田川四軒家部落から豆田方面を望む



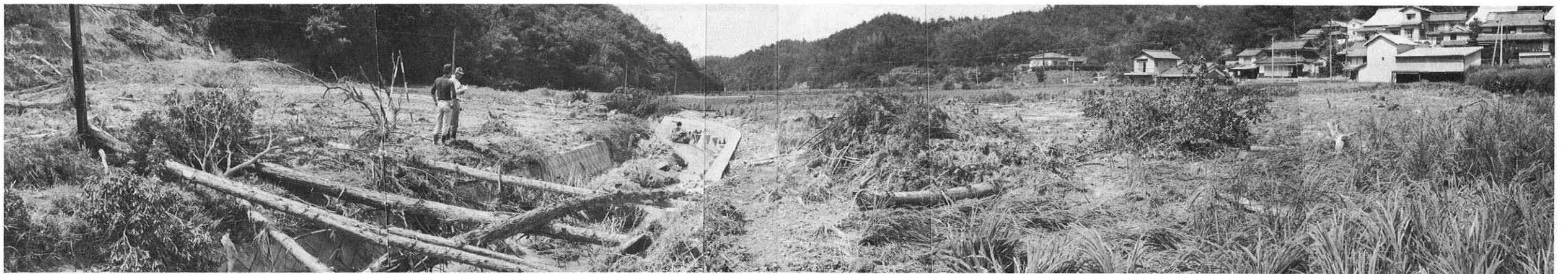
↑ 大橋及び円張部落を望む



↑ 仁生田部落を望む



↑ 役場から田中部落を望む（尾張）



↑ 林地崩壊による水田埋没状況（庄田）



↑ 舟による避難状況（千町）



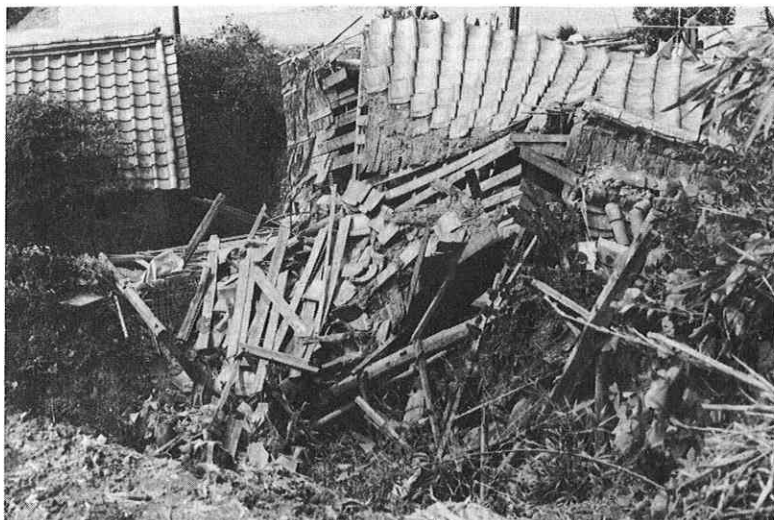
← 邑久光明園の被害状況



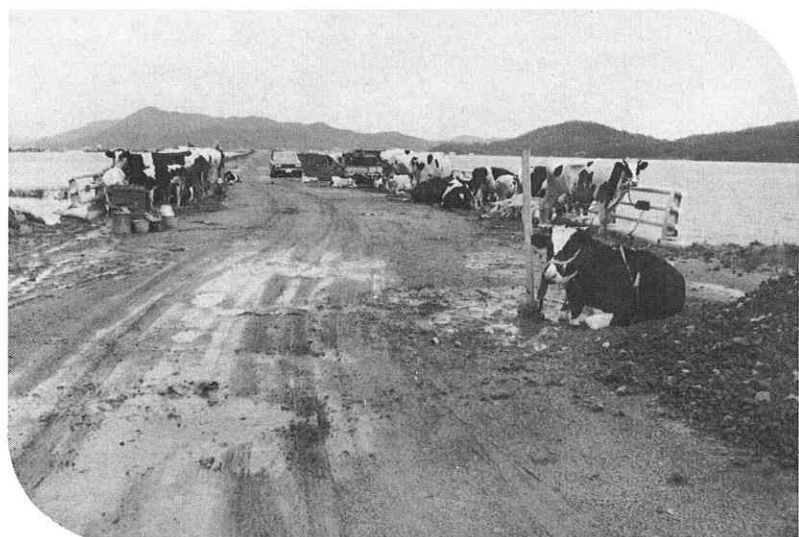
→ 長島愛生園内の被害状況



← 蒙掛小学校の法面崩壊



← 家屋の倒壊(虫明)



← (工事中の有料道路)  
唯一の避難場所



← 水田の埋没状況(尻海)

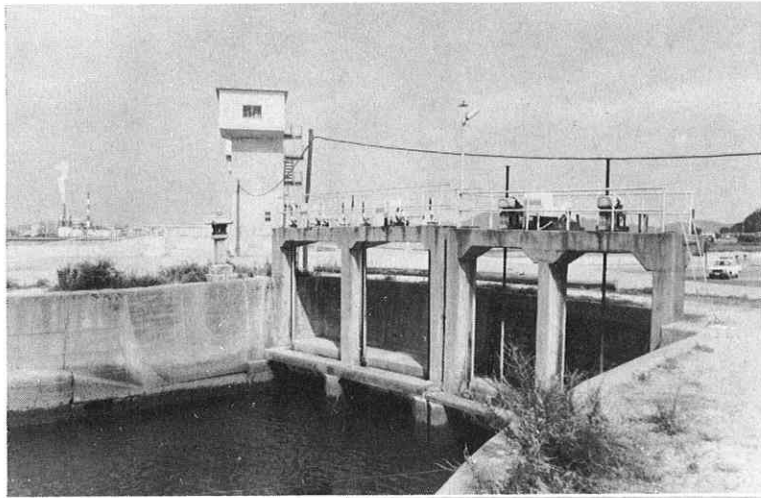


→ 林地の崩壊(町道黒井・虫明線)

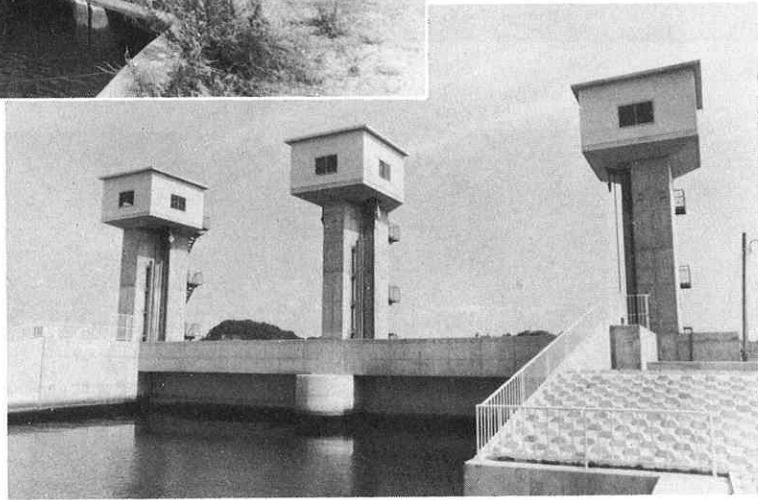


→ 土砂流入による復旧作業(虫明)





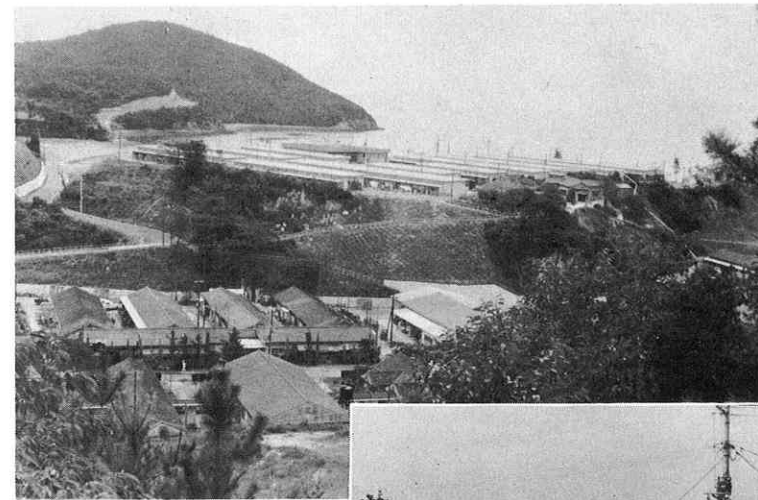
↑ 旧乙子水門



↑ 河川激特事業による新設乙子水門



← 愛生園内被災状況



← 被災者のために建設された  
長島愛生園曙団地  
(全景)

↓ 曙団地の一部



← 激特治山復旧事業・完成  
(上笠加)

# 第 1 気 象 概 況

## 1. 気 象 経 過 （資料：岡山地方気象台及び大阪管区気象台調査）

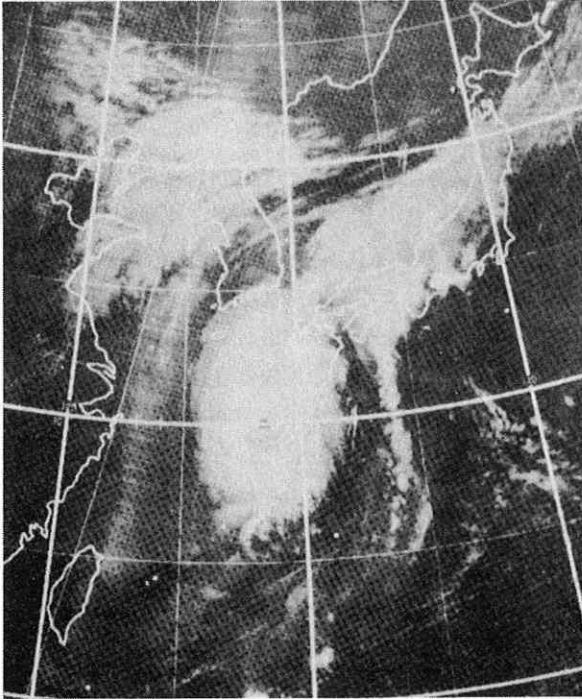
昭和51年9月3日、グアム島南東洋上に発生した熱帯性低気圧は、4日15時台風17号になった。台風17号はゆっくり北西進し、7日15時『大型で非常に強い』台風になり、ラサ島南方海上に達した。8日9時には中心気圧910mb、最大風速60m/sの台風に発達した。台風はいくぶん勢力を弱め、速度をおとしながら北西進し、9日から10日にかけて沖縄の東海上を通り、その後向きを北に変え10日午後奄美大島の西方海上を通った。一方日本海を低気圧が8日から9日にかけて通り、この低気圧から南西にのびる前線が関東から四国付近に達し、この前線は台風が九州西方に接近する頃まで停滞した。台風は本邦に張り出した太平洋高気圧と、低気圧の通過後日本海に張り出してきた中国東北区に中心をもつ高気圧に動きをはばまれ、11日から12日にかけて九州南西海上で停滞をつづけた。しかし、停滞中も勢力は衰えず、12日早朝から再び北上を始め、午後からやや北東に向きを変え、13日1時40分長崎市付近に上陸した。

その後加速しながら佐賀県から福岡市西方を通り日本海に抜け、日本海中部を北東に進み、14日6時日本海北部で温帯低気圧になった。

## 2. 台風17号の特徴

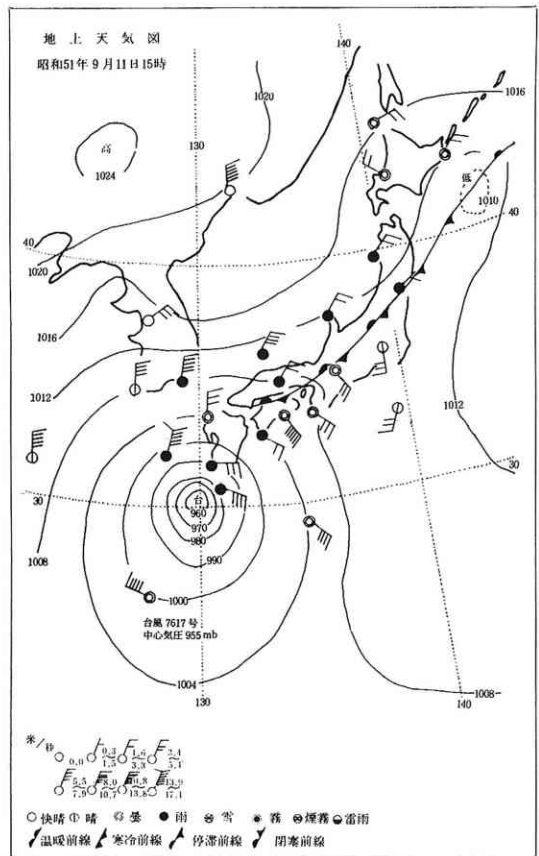
- 1) 九州南西海上で長時間停滞した。
- 2) 停滞中もほとんど衰弱せず、12日北上を始めた時点で再び勢力を盛にかえた。
- 3) 台風が停滞中、台風の東側の遠く離れた地域で大雨が降り続いた。中国地方では岡山県東部から鳥取県東部にかけてと、広島県東部に大雨の地域が定着し、連続的な大雨となった。
- 4) 台風の北上にともなう台風そのものの雨量はそれほど多くなかった。

### 3. 気象観測資料（気象台資料）

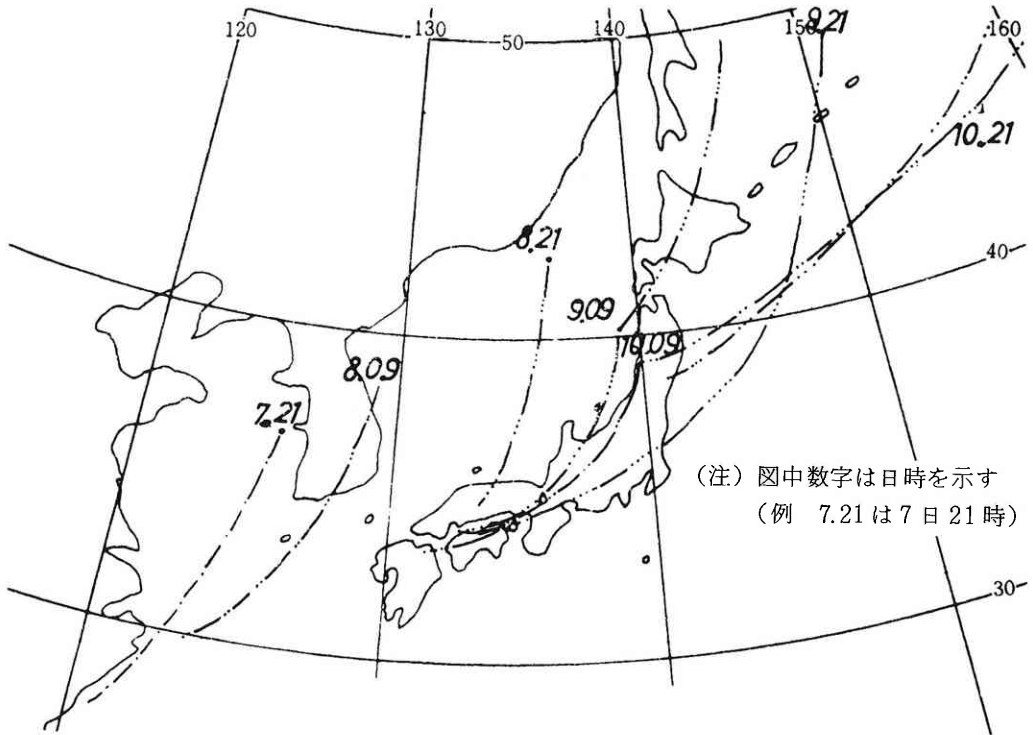


1976 SEP 12, 09h01m, NOAA 4, IR.

気象衛星「ノア」が撮影した台風  
17号と前線による雲（赤外写真）

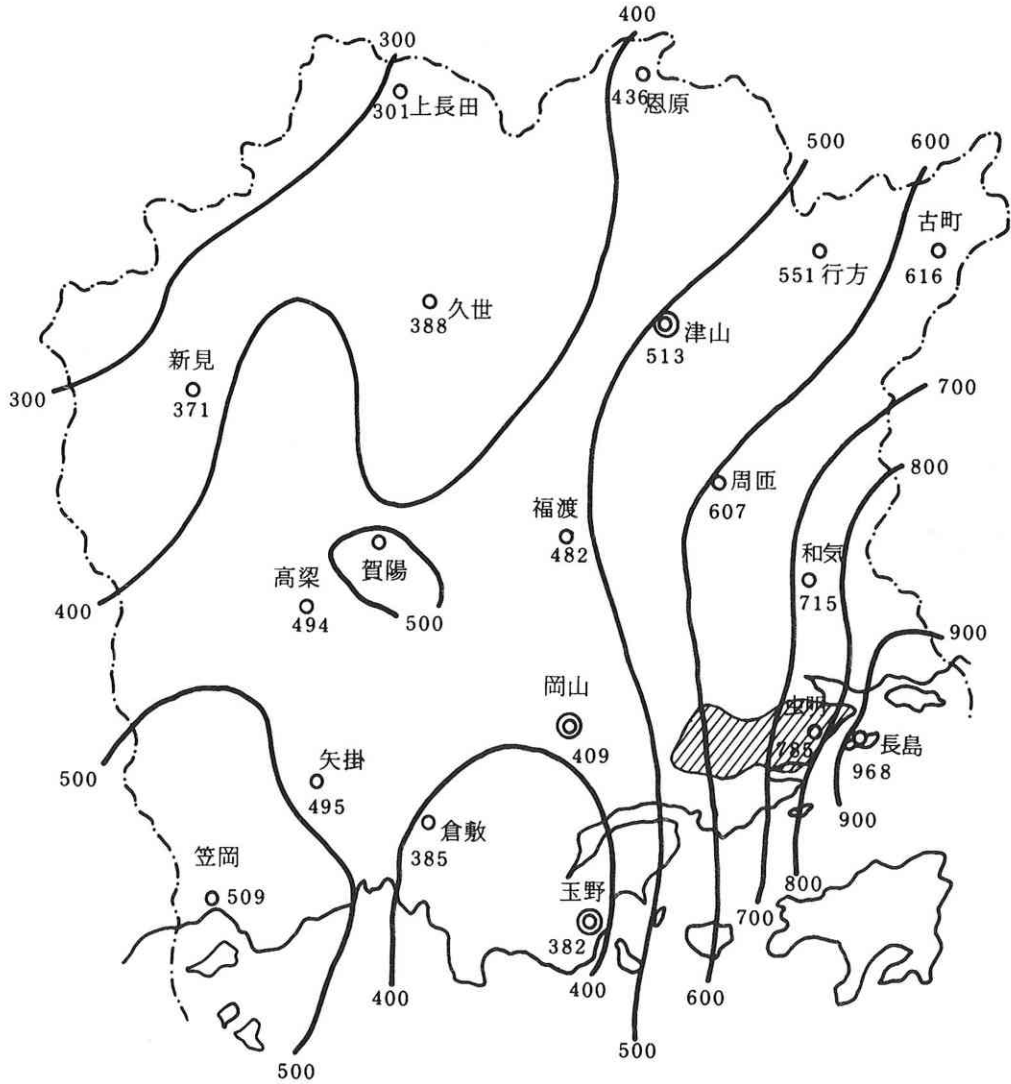


# 前線の動向



# 総 雨 量 図

( 9 月 8 日 9 時 ~ 9 月 14 日 9 時 )



(注) 単位 mm

## 気象官署観測表

(参考)

官署 要素 日時	岡山地方気象台					津山測候所				
	気圧 (海面) 0.1 mb	風向 16方位	風速 0.1 m/S	降水量 0.5 mm	天気	気圧 (海面) 0.1 mb	風向 16方位	風速 0.1 m/S	降水量 0.5 mm	天気
8. 15	1006.8	E S E	3.1	9.0	●	1006.9	E	3.0	8.5	●
21	1006.4	—	0.0	25.0	☉	1006.5	S S W	1.3	34.5	●
9. 3	1005.8	E N E	0.7	5.0		1005.9	S E	0.5	2.5	
9	1007.4	E	2.7	6.0	●	1008.2	W S W	0.6	21.5	●
15	1007.5	N N W	2.7	3.5	●	1008.1	W	1.8	4.5	●
21	1010.9	W S W	0.3	21.5	●	1010.8	E S E	0.5	48.0	●
10. 3	1008.4	E	1.6	15.5		1009.3	E S E	1.6	14.0	
9	1008.8	N	2.1	40.0	●	1009.0	W N W	1.8	56.5	●
15	1008.5	N E	1.7	25.5	●	1008.9	W N W	1.6	21.5	●
21	1009.6	N E	0.9	18.0	●	1010.5	S E	0.8	18.0	●
11. 3	1008.5	N N E	1.3	13.5		1009.3	S S E	1.8	11.5	
9	1008.8	E N E	1.2	6.0	☉	1009.4	E N E	2.4	13.0	●
15	1008.2	N E	2.9	33.5	●	1008.8	E N E	3.8	29.0	●
21	1010.4	N E	2.0	36.5	●	1010.8	S E	0.8	76.5	●
12. 3	1008.5	N E	2.0	36.0		1009.4	S E	0.9	29.0	
9	1009.7	E N E	6.0	40.0	●	1011.6	E S E	1.7	53.0	●
15	1008.3	E	1.5	24.5	●	1008.9	W	1.0	18.0	●
21	1007.3	E N E	3.6	33.0	●	1007.9	E S E	1.6	20.5	●
13. 3	1002.2	E N E	5.3	5.0		1003.7	E S E	1.6	5.5	
8	997.5	E	9.9	*4.0	●	998.0	E	6.4	*3.0	●
9	996.4	E	10.5	1.0	●	997.1	E S E	7.2	6.5	●
10	996.2	E S E	7.1	3.0	●	995.4	E S E	10.8	7.5	●
11	995.4	E S E	7.4	0.0	●	994.4	S E	15.0	5.5	●
12	994.9	E S E	7.8	0.5	⊕	994.1	S E	13.1	3.0	●
13	995.1	E S E	6.1	—	☉	994.0	S E	10.4	0.0	☉
14	996.5	S W	5.0	2.0	☉	994.9	S S E	10.4	1.0	●
15	997.6	S W	8.7	—	⊕	996.4	S	9.9	0.0	☉
16	998.3	W S W	8.0	—	☉	997.0	S	7.0	—	⊕
17	999.5	S W	5.5	—	⊕	998.2	S S W	6.7	—	⊕
21	1003.1	S W	4.8	—	⊕	1002.0	W S W	4.0	—	⊕

(注) 降水量の記入

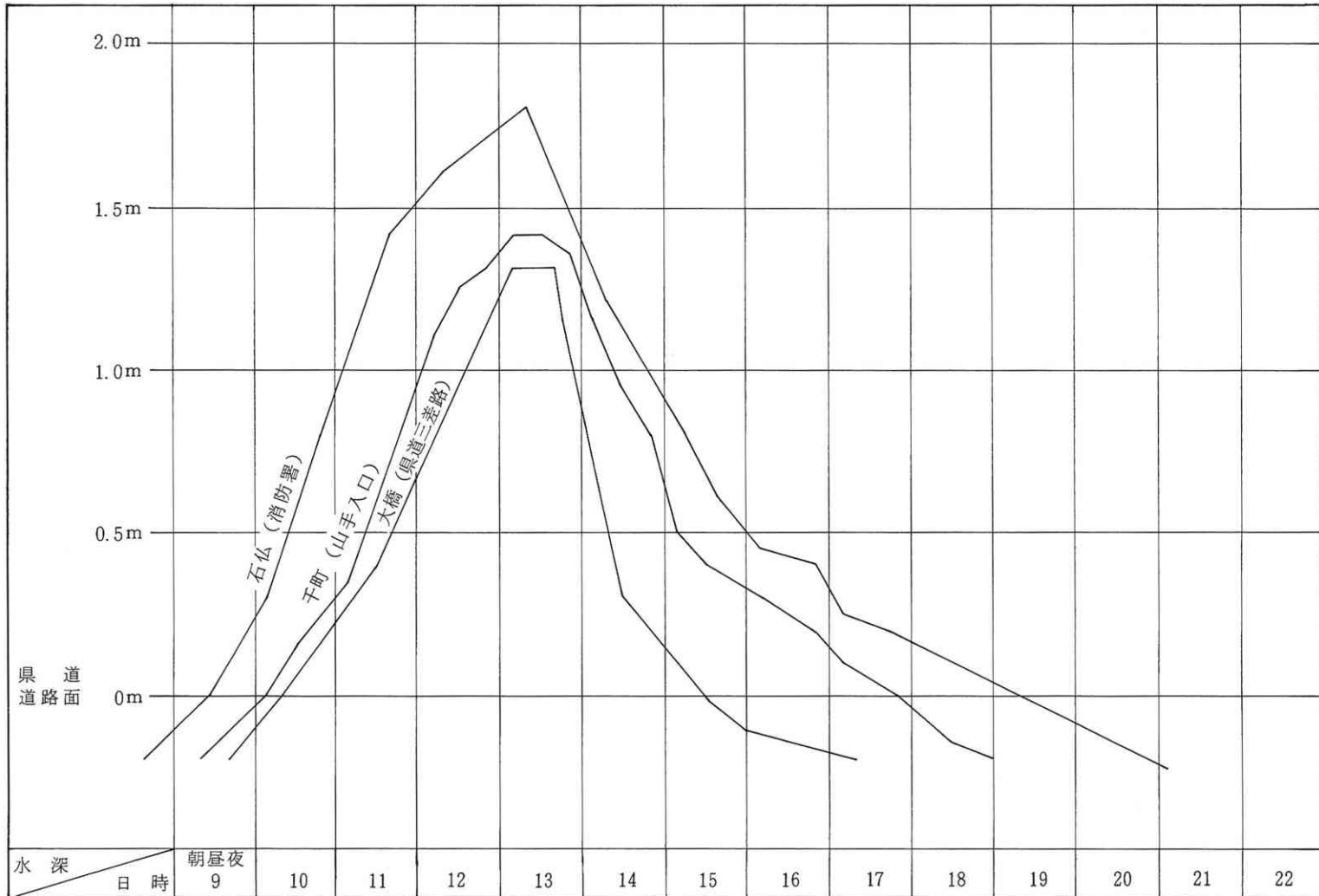
9月 8日 15時～13日 3時 } → 前6時間雨量  
                                   13日 21時 }  
 \*9月 13日 8時                   → 前5時間雨量  
 9月 13日 9時～13日 17時 → 前1時間雨量

## 水 位 観 測 表

水系	河川名	観測所	通報水位	警戒水位	最高水位	最高水位時 日 時	警戒水位 以上河川	摘 要
吉 井 川	吉野川	大原	1.00	1.50	2.61	10 <sup>日</sup> 9 <sup>時</sup>	○	
	〃	湯郷	2.50	3.50	4.94	10 11	○	
	吉井川	奥津	1.50	2.50	2.19	10 11		
	加茂川	加茂	1.50	2.50	1.96	11 21		
	吉井川	津山	1.60	2.60	2.90	11 21	○	
	〃	周匝	2.50	3.50	4.27	10 13	○	
	〃	岩戸	3.00	4.00	5.17	10 15	○	
	〃	和気	2.50	3.50	4.30	11 22	○	
	金剛川	尺所	2.00	3.00	4.40	11 17	○	災害激甚
	吉井川	雄神	1.50	2.50	3.40	11 24	○	
旭 川	月田川	月田	2.00	3.00	2.37	11 21		
	新庄川	江川	2.00	3.00	2.09	13 14		
	目木川	目木	1.20	1.50	1.05	10 12		
	旭川	勝山	1.50	2.50	2.40	13 15		
	誕生寺川	下神目	1.00	1.50	2.65	12 6	○	
	旭川	福渡	2.50	3.50	3.50	11 22	○	
	〃	金川	3.00	4.00	4.40	11 23	○	
	宇甘川	下加茂	2.00	2.50	1.50	11 19		
	〃	宇甘	2.00	2.50	1.86	11 21		
	旭川	下牧	4.30	6.70	5.71	12 7		
〃	三野		6.80	6.74	12 2			
〃	相生橋	2.20	4.30	3.77	12 14			
高 梁 川	高梁川	新見	1.50	2.50	2.06	13 13		
	〃	長尾	2.50	3.00	5.00	13 13	○	
	〃	高梁	3.40	4.40	4.23	10 15		
	成羽川	成羽	3.20	4.20	3.81	13 13		
	小田川	山野	2.00	3.00	3.10	13 11	○	
	〃	井原	2.50	3.50	5.71	12 4		
	〃	矢掛	3.00	4.00	5.10	12 6	○	
	高梁川	日羽		8.90	7.86	13 15		
〃	酒津		4.50	5.77	11 22	○		
そ の 他	足守川	甫崎橋	2.50	3.20	2.80	12 5		
	中川	中川橋	1.80	2.50	2.53	12 8	○	

# 台風 17 号 集中豪雨による道路浸水状況

(邑久町役場建設課調)





### A 毎時雨量表 (邑久町役場建設課調)

月 日 時 間	9 月 8 日			9 月 9 日			9 月 10 日		
	時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算
0 ~ 1				0	0	46.5	10.0	10.0	76.5
1 ~ 2				1.0	1.0	47.5	7.0	17.0	83.5
2 ~ 3				4.0	5.0	51.5	12.0	29.0	95.5
3 ~ 4				4.0	9.0	55.5	10.0	39.0	105.5
4 ~ 5				2.0	11.0	57.5	4.0	43.0	109.5
5 ~ 6				0	11.0	57.5	29.0	72.0	138.5
6 ~ 7				0	11.0	57.5	13.0	85.0	151.5
7 ~ 8				0	11.0	57.5	6.0	91.0	157.5
8 ~ 9				0.5	11.5	58.0	4.0	95.0	161.5
9 ~ 10				0	11.5	58.0	4.0	99.0	165.5
10 ~ 11				0	11.5	58.0	2.0	101.0	167.5
11 ~ 12				0.5	12.0	58.5	6.0	107.0	173.5
12 ~ 13	10.0	10.0	10.0	0.5	12.5	59.0	2.0	109.0	175.5
13 ~ 14	4.0	14.0	14.0	1.0	13.5	60.0	2.0	111.0	177.5
14 ~ 15	5.0	19.0	19.0	1.5	15.0	61.5	4.0	115.0	181.5
15 ~ 16	3.0	22.0	22.0	0.5	15.5	62.0	9.0	124.0	190.5
16 ~ 17	2.0	24.0	24.0	0	15.5	62.0	1.5	125.5	192.0
17 ~ 18	8.0	32.0	32.0	0	15.5	62.0	4.0	129.5	196.0
18 ~ 19	5.0	37.0	37.0	0	15.5	62.0	1.5	131.0	197.5
19 ~ 20	5.0	42.0	42.0	0	15.5	62.0	2.0	133.0	199.5
20 ~ 21	0	42.0	42.0	0	15.5	62.0	3.0	136.0	202.5
21 ~ 22	0.5	42.5	42.5	0	15.5	62.0	2.0	138.0	204.5
22 ~ 23	1.5	44.0	44.0	2.0	17.5	64.0	4.5	142.5	209.0
23 ~ 24	2.5	46.5	46.5	2.5	20.0	66.5	0.5	143.0	209.5
計	46.5	46.5	46.5	20.0	20.0	66.5	143.0	143.0	209.5

単位：mm

9 月 1 1 日			9 月 1 2 日			9 月 1 3 日		
時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算
0	0	209.5	9.0	9.0	413.0	0.5	0.5	559.5
10.0	10.0	219.5	10.5	19.5	423.5	0	0.5	559.5
8.0	18.0	227.5	4.5	24.0	428.0	0	0.5	559.5
1.0	19.0	228.5	10.5	34.5	438.5	0.5	1.0	560.0
2.5	21.5	231.0	6.5	41.0	445.0	0	1.0	560.0
3.5	25.0	234.5	10.0	51.0	455.0	0	1.0	560.0
1.0	26.0	235.5	6.5	57.5	461.5	0.5	1.5	560.5
18.0	44.0	253.5	6.0	63.5	467.5	1.0	2.5	561.5
6.0	50.0	259.5	15.0	78.5	482.5	0.5	3.0	562.0
7.5	57.5	267.0	23.0	101.5	505.5			
4.0	61.5	271.0	14.0	115.5	519.5			
2.0	63.5	273.0	7.0	122.5	526.5			
6.0	69.5	279.0	2.0	124.5	528.5			
8.0	77.5	287.0	1.0	125.5	529.5			
8.0	85.5	295.0	2.0	127.5	531.5			
16.0	101.5	311.0	4.0	131.5	535.5			
12.5	114.0	323.5	1.5	133.0	537.0			
17.0	131.0	340.5	5.5	138.5	542.5			
17.0	148.0	357.5	5.5	144.0	548.0			
6.5	154.5	364.0	5.0	149.0	553.0			
9.0	163.5	373.0	2.0	151.0	555.0			
15.0	178.5	388.0	2.5	153.5	557.5			
11.0	189.5	399.0	0.5	154.0	558.0			
5.0	194.5	404.0	1.0	155.0	559.0			
194.5	194.5	404.0	155.0	155.0	559.0	3.0	3.0	562.0

**B 毎時雨量表** (気象台委託虫明観測所調)

月日 時間	9月8日			9月9日			9月10日		
	時間	日算	通算	時間	日算	通算	時間	日算	通算
0 ~ 1				0	0	38.0	7.0	7.0	67.0
1 ~ 2				0	0	38.0	8.0	15.0	75.0
2 ~ 3				3.0	3.0	41.0	7.0	22.0	82.0
3 ~ 4				7.0	10.0	48.0	14.0	36.0	96.0
4 ~ 5				3.0	13.0	51.0	4.0	40.0	100.0
5 ~ 6				0	13.0	51.0	24.0	64.0	124.0
6 ~ 7				0	13.0	51.0	40.0	104.0	164.0
7 ~ 8				0	13.0	51.0	13.0	117.0	177.0
8 ~ 9				0	13.0	51.0	1.0	118.0	178.0
9 ~ 10				0	13.0	51.0	6.0	124.0	184.0
10 ~ 11				0	13.0	51.0	3.0	127.0	187.0
11 ~ 12				0	13.0	51.0	10.0	137.0	197.0
12 ~ 13	5.0	5.0	5.0	1.0	14.0	52.0	3.0	140.0	200.0
13 ~ 14	2.0	7.0	7.0	0	14.0	52.0	4.0	144.0	204.0
14 ~ 15	2.0	9.0	9.0	0	14.0	52.0	7.0	151.0	211.0
15 ~ 16	4.0	13.0	13.0	0	14.0	52.0	7.0	158.0	218.0
16 ~ 17	4.0	17.0	17.0	1.0	15.0	53.0	2.0	160.0	220.0
17 ~ 18	5.0	22.0	22.0	0	15.0	53.0	2.0	162.0	222.0
18 ~ 19	6.0	28.0	28.0	0	15.0	53.0	0	162.0	222.0
19 ~ 20	6.0	34.0	34.0	0	15.0	53.0	3.0	165.0	225.0
20 ~ 21	1.0	35.0	35.0	0	15.0	53.0	5.0	170.0	230.0
21 ~ 22	0	35.0	35.0	1.0	16.0	54.0	4.0	174.0	234.0
22 ~ 23	1.0	36.0	36.0	3.0	19.0	57.0	4.0	178.0	238.0
23 ~ 24	2.0	38.0	38.0	3.0	22.0	60.0	1.0	179.0	239.0
計	38.0	38.0	38.0	22.0	22.0	60.0	179.0	179.0	239.0

単位：mm

9 月 11 日			9 月 12 日			9 月 13 日		
時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算
5.0	5.0	244.0	8.0	8.0	648.0	0	0	770.0
37.0	42.0	281.0	5.0	13.0	653.0	0	0	770.0
10.0	52.0	291.0	2.0	15.0	655.0	0	0	770.0
1.0	53.0	292.0	21.0	36.0	676.0	0	0	770.0
5.0	58.0	297.0	7.0	43.0	683.0	0	0	770.0
6.0	64.0	303.0	11.0	54.0	694.0	0	0	770.0
6.0	70.0	309.0	10.0	64.0	704.0	2.0	2.0	772.0
15.0	85.0	324.0	5.0	69.0	709.0	3.0	5.0	775.0
30.0	115.0	354.0	14.0	83.0	723.0	4.0	9.0	779.0
8.0	123.0	362.0	8.0	91.0	731.0	1.0	10.0	780.0
6.0	129.0	368.0	14.0	105.0	745.0	0	10.0	780.0
6.0	135.0	374.0	3.0	108.0	748.0	0	10.0	780.0
11.0	146.0	385.0	3.0	111.0	751.0	0	10.0	780.0
18.0	164.0	403.0	0	111.0	751.0	4.0	14.0	784.0
45.0	209.0	448.0	2.0	113.0	753.0	1.0	15.0	785.0
24.0	233.0	472.0	3.0	116.0	756.0			
36.0	269.0	508.0	1.0	117.0	757.0			
23.0	292.0	531.0	3.0	120.0	760.0			
17.0	309.0	548.0	6.0	126.0	766.0			
21.0	330.0	569.0	2.0	128.0	768.0			
25.0	355.0	594.0	1.0	129.0	769.0			
19.0	374.0	613.0	0	129.0	769.0			
9.0	383.0	622.0	0	129.0	769.0			
18.0	401.0	640.0	1.0	130.0	770.0			
401.0	401.0	640.0	130.0	130.0	770.0	15.0	15.0	785.0

C 毎時雨量表 (長島気象観測所調)

月 日 時 間	9 月 8 日			9 月 9 日			9 月 10 日		
	時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算
0 ~ 1				3.0	3.0	49.0	3.0	3.0	78.0
1 ~ 2				1.0	4.0	50.0	3.0	6.0	81.0
2 ~ 3				2.0	6.0	52.0	5.0	11.0	86.0
3 ~ 4				6.0	12.0	58.0	5.0	16.0	91.0
4 ~ 5				3.0	15.0	61.0	12.0	28.0	103.0
5 ~ 6				1.0	16.0	62.0	26.0	54.0	129.0
6 ~ 7				0	16.0	62.0	30.0	84.0	159.0
7 ~ 8				0	16.0	62.0	24.0	108.0	183.0
8 ~ 9				0	16.0	62.0	1.0	109.0	184.0
9 ~ 10				0	16.0	62.0	7.0	116.0	191.0
10 ~ 11				0	16.0	62.0	4.0	120.0	195.0
11 ~ 12	1.0	1.0	1.0	0	16.0	62.0	14.0	134.0	209.0
12 ~ 13	6.0	7.0	7.0	1.0	17.0	63.0	3.0	137.0	212.0
13 ~ 14	2.0	9.0	9.0	0	17.0	63.0	2.0	139.0	214.0
14 ~ 15	3.0	12.0	12.0	0	17.0	63.0	6.0	145.0	220.0
15 ~ 16	6.0	18.0	18.0	0	17.0	63.0	8.0	153.0	228.0
16 ~ 17	4.0	22.0	22.0	0	17.0	63.0	3.0	156.0	231.0
17 ~ 18	5.0	27.0	27.0	0	17.0	63.0	1.0	157.0	232.0
18 ~ 19	8.0	35.0	35.0	0	17.0	63.0	0	157.0	232.0
19 ~ 20	6.0	41.0	41.0	3.0	20.0	66.0	4.0	161.0	236.0
20 ~ 21	2.0	43.0	43.0	0	20.0	66.0	3.0	164.0	239.0
21 ~ 22	1.0	44.0	44.0	2.0	22.0	68.0	3.0	167.0	242.0
22 ~ 23	1.0	45.0	45.0	3.0	25.0	71.0	6.0	173.0	248.0
23 ~ 24	1.0	46.0	46.0	4.0	29.0	75.0	5.0	178.0	253.0
計	46.0	46.0	46.0	29.0	29.0	75.0	178.0	178.0	253.0

単位：mm

9 月 11 日			9 月 12 日			9 月 13 日		
時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算	時 間	日 算	通 算
13.0	13.0	266.0	12.0	12.0	806.0	0	0	966.0
44.0	57.0	310.0	6.0	18.0	812.0	0	0	966.0
16.0	73.0	326.0	5.0	23.0	817.0	0	0	966.0
1.0	74.0	327.0	36.0	59.0	853.0	0	0	966.0
6.0	80.0	333.0	11.0	70.0	864.0	0	0	966.0
8.0	88.0	341.0	11.0	81.0	875.0	0	0	966.0
7.0	95.0	348.0	13.0	94.0	888.0	1.0	1.0	967.0
18.0	113.0	366.0	11.0	105.0	899.0	2.0	3.0	969.0
45.0	158.0	411.0	16.0	121.0	915.0	3.0	6.0	972.0
9.0	167.0	420.0	18.0	139.0	933.0	2.0	8.0	974.0
5.0	172.0	425.0	9.0	148.0	942.0	0	8.0	974.0
8.0	180.0	433.0	4.0	152.0	946.0	0	8.0	974.0
52.0	232.0	485.0	3.0	155.0	949.0	0	8.0	974.0
56.0	288.0	541.0	1.0	156.0	950.0	1.0	9.0	975.0
38.0	326.0	579.0	2.0	158.0	952.0	1.0	10.0	976.0
29.0	355.0	608.0	2.0	160.0	954.0			
36.0	391.0	644.0	2.0	162.0	956.0			
18.0	409.0	662.0	2.0	164.0	958.0			
11.0	420.0	673.0	3.0	167.0	961.0			
20.0	440.0	693.0	2.0	169.0	963.0			
35.0	475.0	728.0	2.0	171.0	965.0			
27.0	502.0	755.0	1.0	172.0	966.0			
19.0	521.0	774.0	0	172.0	966.0			
20.0	541.0	794.0	0	172.0	966.0			
541.0	541.0	794.0	172.0	172.0	966.0	10.0	10.0	976.0

## 第 2 災 害 情 報

### 9月8日

時 分

- 15:30 ・大雨注意報発令。(岡山地方気象台)

### 9月9日

- 7:00 ・大雨情報第1号。(岡山地方気象台)  
14:30 ・大雨注意報。(更新)

### 9月10日

- 6:20 ・大雨情報第2号。  
7:00 ・水防警戒体制に入る。  
8:20 ・大雨洪水警報発令。  
17:00 ・邑久町災害対策本部を設置する。

前日の大雨注意報に続き、午前8時20分大雨洪水警報が発令、注意体制にあったが、東部地域の降雨多く、17時災害対策本部を設置本部会議を開く。本庁第1、第2要員、裳掛地区職員は全員警戒要員として残留する。

虫明地区内小河川氾濫により、池田部落浸水等被害が始め消防団裳掛分団(以下〇〇分団)出動した。

### 9月11日

- 1:45 ・敷井地区一部住居浸水の連絡あり玉津分団出動。  
1:50 ・玉津・裳掛地区停電。  
2:00 ・知尾地内高潮による浸水。床上2戸、床下28戸。本部より水防資材配送。  
8:50 ・虫明地内断水。  
9:15 ・町道瀬溝・扇線交通不能  
9:20 ・有線放送を通じ、全町に警報各自可能な対策を呼びかける。

- 9:45 ・愛生園よりの自衛隊要請を県本部へ連絡。  
10:40 ・県道虫明・長浜線道路応急開通する。三谷土砂崩れ復旧。  
11:05 ・町道北池線交通止め。  
11:40 ・福中部落より土のう要請あり。  
12:00 ・干田川・香登川増水、地元住民出動、堤防補強のため土のう積作業始める。  
・裳掛支所へ土のう1.300俵、杭100本配送。  
・光明園へ土のう300俵、山土1車(8t車)配送。  
12:20 ・峨城山の箕輪墓地山崩れで建設課出動。  
12:40 ・豊原分団、猫の鼻へ出動。  
12:50 ・今城分団へ土のう200俵、福田分団へ土のう400俵を配送。  
13:20 ・干田川福元地内へ氾濫始まる。  
13:50 ・福元部落へ山土18㎡、土のう1.000俵配送。  
14:00 ・交通不能か所の有線放送。  
・庄田白坂池土のう300俵、杭30本配送。  
14:10 ・干田川の増水で福元橋・知万橋の橋桁危険となり、福田、豊原分団出動。  
14:40 ・瀬溝道路交通不能。  
14:50 ・円張部落へ土のう100俵配送。  
15:00 ・今城分団出動、土のう200俵配送。  
15:20 ・福田分団出動、土のう1.200俵配送。  
15:30 ・福谷笹なぎ地内山崩れ。  
15:45 ・愛生園よりの自衛隊要請を県本部へ連絡。  
15:50 ・岩端地内山崩れ。  
16:00 ・千町部落の浸水始まる。  
・西部地域へ避難等対策を有線放送で連絡。

- 16 : 10
    - ・本庄分団へ土のう 100 俵配送。
    - ・福田分団へ土のう 2.000 俵配送。
    - ・福中集乳所へ山土 1 台（8 t 車）配送。
    - ・福元橋付近へ山土 1 台（8 t 車）配送。
    - ・尻海地内停電。
  - 16 : 15
    - ・大土井部落へ土のう 100 俵配送。
    - ・大富川田部落住家床下浸水。
    - ・石堂部落へ土のう 100 俵配送。
  - 16 : 20
    - ・北池部落へ連絡用舟廻送。
  - 16 : 22
    - ・虫明地内及び愛生園・光明園電話不通。
  - 16 : 25
    - ・愛生園病棟 6 棟倒壊、看護婦宿舎 2 棟倒壊寸前との連絡あり。
  - 16 : 30
    - ・福元部落へ土のう 850 俵配送。
    - ・裳掛支所へ土のう 200 俵配送。
    - ・虫明瀬戸部落 20 戸、邑久町漁協へ避難。
  - 16 : 50
    - ・高助、堤防決壊。
  - 17 : 00
    - ・大用水より東側一帯の浸水始まる。部落委員を通じ対策を呼びかける。
    - ・福元部落へ山土 2 台（8 t 車）配送。
  - 17 : 05
    - ・今城分団へ土のう 300 俵配送。
  - 17 : 08
    - ・玉津小校庭崩壊。
  - 17 : 10
    - ・豊原長谷川橋危険。
    - ・千町部落住家浸水始まる。
  - 17 : 15
    - ・断水中の愛生園に給水を要請、水産試験場の船を手配。
  - 17 : 20
    - ・潤徳部落へ土のう 100 俵配送。
  - 17 : 30
    - ・東部有線で裳掛地区危険か所の住民へ避難するよう放送。
  - 17 : 45
    - ・福山部落へ土のう 200 俵配送。
    - ・小物屋部落へ土のう 120 俵配送。
  - 18 : 00
    - ・福山部落へ山土 2 台（8 t 車）配送。
    - ・福田分団へ土のう 2.000 俵配送。
  - 18 : 25
    - ・潤徳部落へ土のう 400 俵配送。
  - 18 : 45
    - ・小物屋部落より、防災工事の応援を求められ、邑久分団へ出動要請。
    - ・今城分団へ土のう 400 俵配送。
  - 19 : 15
    - ・大橋部落へ土のう 400 俵配送。
  - 19 : 25
    - ・錦海塩業社宅住民玉津小へ避難。
  - 19 : 45
    - ・おぶの坂土砂崩れのため交通止め。
  - 19 : 50
    - ・上笠加部落裏山の山鳴り。
  - 19 : 55
    - ・福元部落へ土のう 600 俵配送。
  - 20 : 00
    - ・水産試験場の船、愛生園接岸不能との事、玉野海上保安部の船に依頼。
- 大用水西地域の浸水始まる。夜にかけ関係地区消防団、自警団により千田川、大用水の堤防補強工事を行い大量の土のうを追加手配避難所の設置をした。
- ・上笠加部落へ土のう 400 俵配送。
  - ・石堂地内河川決壊の恐れあり。
  - 20 : 20
    - ・小物屋部落へ土のう 600 俵配送。
  - 20 : 40
    - ・豆田南地内交通不能。
    - ・更谷池決壊尻海西部落床下浸水。
  - 21 : 00
    - ・大土井明見川堤防決壊。
  - 21 : 20
    - ・千町部落床上浸水のため、女子、子供中央公民館へ避難。
    - 愛生園へ本部職員派遣、牛窓港から急行の船に乗船す。
  - 21 : 25
    - ・虫明浜部落 1 戸土砂崩壊。
    - ・瀬溝部落 3 戸避難。
  - 21 : 40
    - ・夢の郷住民「夢ぞの」の 2 階へ避難。
    - ・上笠加部落へ土のう 600 俵配送。
    - ・小物屋部落へ土のう 600 俵配送。
    - ・県より土のう 3.000 俵到着。
  - 21 : 50
    - ・大賀島部落への交通不能。
    - ・潤徳部落床下浸水対策の準備。
  - 21 : 55
    - ・今城分団へ土のう 400 俵配送。
  - 22 : 00
    - ・愛生園との電話不通のため、同園との連絡は無線により、牛窓警察署を經由、町・県本部に対し行う。
  - 22 : 10
    - ・仁生田部落浸水始まる。
  - 22 : 30
    - ・小物屋部落へ山土 8 m<sup>3</sup> 配送。
    - ・レストタウン邑久部落へ土のう 50 俵配送。
  - 22 : 40
    - ・箕輪部落へ土のう 400 俵配送。
  - 23 : 00
    - ・下笠加部落へ土のう 600 俵配送。



- 23 : 20 ・愛生園より無線連絡による。
- ・自衛隊の要請を県本部へ連絡。

## 9月12日

- 0 : 00 ・災害救助法適用される。
- ・向山谷部落へ土のう40俵配送。
- 0 : 05 ・豊安部落孤立者救出活動。
- 0 : 30 ・下笠加部落へ土のう400俵配送。
- 0 : 40 ・愛生園より被害状況報告あり。
- ・県本部へ連絡、4棟10戸倒壊、  
がけ崩れによる危険病棟35棟50戸、  
床下浸水30棟200名避難、水・食糧なし
- ・重症患者病棟以外は停電。
- ・県警機動隊第1便が11日22:30出発、第2便23:20出発医師同伴。
- 0 : 45 ・上笠加部落裏山崩壊住家2戸半壊  
危険により約20名が公会堂へ避難。
- 2 : 00 ・福元部落へ土のう100俵配送。
- 2 : 30 ・豊安部落住民6名中央公民館へ避難。
- 2 : 55 ・千町部落住民に避難命令。
- ・裳掛地区住民に避難命令。
- 16戸 76名
- ・中央公民館、邑久中学校、裳掛漁協へ避難。3:00現在で判明した被害は全町床上浸水177戸、床下浸水359戸となる。
- 3 : 20 ・千町部落内私有の舟を借上げ。
- ・大用水西一帯において床上浸水始まる。
- 5 : 00 ・愛生園手配の給水船風のため出航不能。
- ・愛生園に対する救援物資配送方  
県対策本部に対し要請。
- 6 : 00 ・千町部落より救援依頼あり。
- 7 : 00 ・水産試験場よりボート1隻到着。
- 7 : 05 ・間口部落 17名避難。
- 7 : 20 ・福山部落へ土のう200俵山土1台  
(8t車)配送。

- ・福元部落へ山土2台(8t車)配送。
- ・橋本部落へ山土1台(8t車)配送。
- ・豊安部落の被災者救出。
- 9 : 45 ・間口部落裏山崩壊2戸納屋等倒壊。
- ・瀬戸東部落1戸住家倒壊の恐れあり裳掛分団出動。
- 9 : 50 ・レストタウン邑久部落へ土のう200俵配送。
- ・役場庁舎床下浸水重要書類の移動を行う。
- 10 : 20 ・藤峠部落の下の池決壊寸前。
- 10 : 50 ・大土井部落へ土のう200俵配送。
- 11 : 00 ・電々公社尾張基地確保のため山土4m<sup>3</sup>、土のう200俵太陽建設KKより人夫出動。
- ・県警無線隊町役場に駐留し、終日長島と連絡。
- ・本部長島と連絡。
- ・消防団員によりボート、川舟による救出作業。
- 11 : 10 ・裳掛支所へ土のう2,000俵配送。
- 12 : 00 ・駅前部落より公民館へ8名避難。
- 12 : 40 ・邑久団地へ土のう30俵配送。
- 13 : 40 ・仁生田部落1名救出のため、ボート出動。
- 14 : 00 ・邑久中学校へ避難人員27名。
- 14 : 10 ・愛生園への救援物資到着、道路不通のため、下寺公会堂を中継して配送。
- 14 : 45 ・福元部落へ土のう200俵配送。
- 15 : 00 ・南大土井部落へ土のう600俵配送。
- 17 : 00 ・福元部落へ山土2台(8t車)配送。
- 17 : 10 ・間口・前泊部落へ飲料水供給。
- 17 : 45 ・上笠加西部20戸公会堂へ避難。
- 18 : 00 ・高助部落内河川決壊。
- ・田淵部落40戸床上浸水。
- 18 : 05 ・病院より炊事人輸送の依頼あり。
- 18 : 40 ・裳掛支所より土のう3,000俵、杭100本配送の依頼あり、虫明方面への交通路遮断のため陸路片上港より船で配送。
- 19 : 00 ・県対策本部よりゴムボート3隻到

着、夜半まで救援作業続く。

## 9月13日

- 0 : 05 ・光明園被害家屋2戸、がけ崩れによる危険病棟2棟32名と家屋3戸12名避難、園内道路不通3か所、県本部へ連絡。
- 4 : 30 ・暴風雨・洪水・波浪・高潮警報発令。
- 6 : 30 ・物資輸送の愛生園ちどり号出航不能、玉野海上保安部へ出船依頼（たまなみ号）11時40分宇野港を出航。（県より）
- 7 : 45 ・自衛隊救護班到着。  
自衛隊、町職員にて浸水地域に対して舟艇で救援活動。
- 9 : 50 ・愛生園配送物資の防水用シート要請、愛生園停電復旧工事の技術者派遣要請。
- 10 : 10 ・愛生園向け水道工事修理班陸路出発。
- 10 : 30 ・敷井部落へ土のう200俵配送。  
・裳掛支所へ土のう5.200俵、杭100本配送。
- 10 : 40 ・田淵部落、公会堂へ10名避難。
- 10 : 45 ・裳掛地区土砂崩れ多発により自衛隊の救援を要請。  
西部一帯の浸水続き、自衛隊の応援を得て、町本部員のボートによる救援活動終日続く。
- 11 : 00 ・豆田南床上浸水5戸、床下浸水15戸。
- 12 : 05 ・豊安地内派遣活動中の自衛隊員3名では不足のため、ボート増隻要請。
- 12 : 46 ・愛生園・光明園負傷者なし。（警察通信）
- 14 : 15 ・愛生園救援物資受授完了。  
・派遣医師団宇野港へ帰る。  
・被害全壊12戸、半壊13戸。
- 14 : 50 ・各種警報を注意報に切替、台風次

第におさまる。

庄田・高助・裳掛方面への水防資材手配するも輸送困難。

- 19 : 30 ・風雨・波浪・洪水注意報解除。

## 9月14日

- 8 : 00 ・救援活動のため自衛隊幹部裳掛地区状況査察。  
西部地域減水し始める。  
避難所利用者14人に減る。
- 9 : 08 ・愛生園への給水14日から給水船（5t）で1日2回送水する。  
邑久牛窓水道企業団職員が虫明港へ出向き給水に立会。

## 9月15日

- ・千町等低地帯を残しほぼ道路通行可能。
- ・防疫作業、被害状況調査開始。

## 9月16日

- ・愛生園へ町消防団 27名出動。
- ・終日園内の応急救援活動を行う。  
自衛隊 500名、町消防団出動、裳掛地区内の住居内崩土除去作業にあたる。  
本部は防疫作業、調査作業、救援物資配給作業を行う。

## 9月17日

- ・社会党県議団調査に来町。
- ・議会全員協議会を開き、被災者救援対策等協議。
- ・県道 瀬 西大寺線（虫明方面）全面開通。

## 9月18日

- ・国の調査団（建設政務次官）に対し、対策を陳情す。

## 9月19日

- ・建設省地すべり調査班来町。

- ・臨時議会を招集1,000万円の応急対策費をもって事態収拾をはかることを決め、即日災害対策特別委員会を設置非常態制をしく。

9月20日

- ・9:00をもって邑久町災害対策本部解散。
- ・平常業務として事後処理にあたる。

9月21日

- ・建設省に対し、干田川・千町川の改修について陳情。

9月22日

- ・自由民主党調査団来庁。

9月23日

- ・建設大臣に干田川・千町川の抜本的改修について陳情。(備前市三石支所にて)

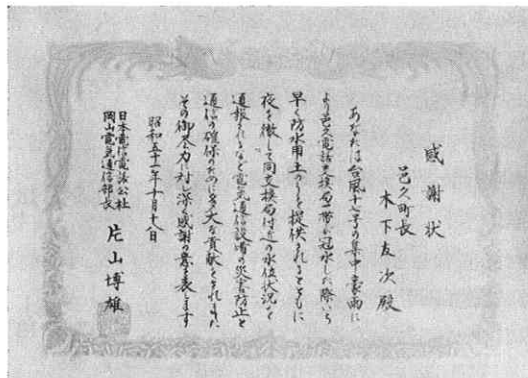
9月29日

- ・衆議院災害対策特別委員会来県、対策を陳情。



↑自衛隊機の臨時ヘリポート  
(福谷)

→ 邑久町長に贈られた感謝状



### 第 3 被 災 概 況

本町では、9月8日昼過ぎから降雨が始まり、その後間断なく降り続き、13日までの6日間の連続降雨量は、虫明で785mm、長島では1,000mmに近い雨量を記録し、年間総雨量のほとんどをこの間で降りつくすという本町未曾有の大雨であった。

このため、本町の西部は、平坦な水田地帯であり、主要河川の干田川、千町川の氾濫により、全域にわたって浸水した。しかも中心部を流れる千町川は海拔0メートルであるため、満潮時においては排水不能、干田川も又吉井川の増水により自然排水が十分でないという地形的要因から浸水が長びいたため住家の浸水被害はもとより、折から開花期の水稻の長期冠水により被害を一層大きくした。

また東部は山間部地帯であるため、急傾斜地崩壊により、住宅、農地、農業施設等への被害が甚大であった。

#### (1) 住家の被害状況

事 項		市 町 村	邑 久 町	岡 山 県	摘 要
人的被害	死 者		0 <sup>人</sup>	19 <sup>人</sup>	
	行方不明		0	0	
	負 傷 者		0	116	重傷45人、軽傷71人
住 家 的 被 害	全 壊	戸 数	24 <sup>戸</sup>	143 <sup>戸</sup>	
		世 帯 数	25	147	
		人 員	51	476	
	流 失	戸 数	0	14	
		世 帯 数	0	14	
		人 員	0	45	
	半 壊	戸 数	47	520	
		世 帯 数	47	521	
		人 員	116	1,939	
	床上浸水	戸 数	456	4,708	
		世 帯 数	456	4,712	
		人 員	1,882	17,335	
床下浸水	戸 数	1,526	30,159		
	世 帯 数	1,531	30,159		
	人 員	5,074	102,598		
一部破損	戸 数	84	594		
	世 帯 数	84	594		
	人 員	148	2,009		
計	戸 数	2,137	36,138		
	世 帯 数	2,143	36,153		
	人 員	7,271	124,402		
非住家	全壊戸数	1	131		
	半壊戸数	7	39		
	一部破損	0	109		

## (1) の再掲

## 長島愛生園及び邑久光明園被害状況

(長島愛生園・邑久光明園調)

項 目	長 島 愛 生 園	邑 久 光 明 園	計
全 壊	15棟 (住家9、非住家6)	5棟 (住家1、非住家4)	20棟
半 壊	14棟 (住家10、非住家4)	0	14棟
土砂流入	22棟 (住家20、非住家2)	7棟 (職員官舎)	29棟
床下浸水	120棟	17棟 (病舎10、職員官舎7)	137棟
危険家屋	0	4棟 (日蓮、真言、真宗、天理の4寺)	4棟
被災人員	216人 (入園者190、職員26)	40人 (入園者10、職員12、学生18)	256人
山・崖崩れ	120カ所	49カ所	169カ所
道路崩壊	25カ所	10カ所	35カ所
そ の 他	給水設備、給食設備、浄化設備他	給水設備、焼却炉他	
概算被害額	建 物 212百万円 設備・工作物 106百万円 土 地 1,070百万円 } 1,388百万円	建 物 42百万円 設備・工作物 17百万円 土 地 540百万円 } 599百万円	1,987百万円

(2) 農林水産商工関係被害状況

区 分		種 別	被害面積又は箇所数	被害の態様	被 害 額	主たる被害地域
農 林 水 産 物 関 係	水 稲		1,097 ha	流失、埋没 冠水	898,923 千円	町内一円
	野 菜	はくさい	5	枯 損	6,000	虫明、福谷、尻海、他
		ばれいしょ	35	枯損、流失	12,600	町内一円
	豆 類	大 豆	3	枯 損	663	〃
	果 樹	み かん	0.37	流 失	333	虫明、福谷、庄田、尻海
		ぶ ど う	0.60	流失、棚転倒	2,640	〃
	小 計				921,159	
	家 畜	豚	38頭	死亡、浸水	1,640 千円	尾張、下山田
		鶏	5,700羽	死亡、浸水	6,840	北 島
	牛 乳	牛 乳	35.74 t	廃 棄	3,850	町内一円
小 計				12,330		
山 地	山 地	地 す べり	72カ所	山 腹 崩 壊 溪 流 荒 廃 埋 没 崩 壊	188,844	町内山林一円
	林 道		16カ所		12,308	通山、八反、坂田、林道
小 計				201,152		
漁 業 施 設	漁 具	つばあみ	1 基	一 部 破 損	144	虫 明
	小 計				144	
商 工 業 関 係	商 品	食 品、雑貨 衣 料 品		浸 水、流 失	243,440	邑久、福田、今城、豊原 本庄、各地区
	設 備				210,600	
	小 計				454,040	
合 計				1,588,825		

(3) 水稻程度別被害状況

地区名	共済引 受面積 A (ha)	10アール 当たり 平年収量 B (kg)	平年収量 A×B=C (t)	被害程度別面積 (ha)				被害量 D (t)	農業共済 支払共済金 円
				70%以上	70%~ 30%	30%以下	計		
久 久	243	490	1,191	149	63	31	243	660	92,614,830
福 田	207	487	1,008	12	44	151	207	220	10,703,490
今 城	209	492	1,028	84	78	47	209	455	59,961,720
豊 原	147	497	731	84	45	18	147	399	55,994,190
笠 加	136	482	656	27	87	22	136	224	29,873,340
本 庄	197	467	920	132	35	30	197	578	80,859,450
玉 津	59	404	238	13	17	29	59	76	7,793,730
裳 掛	61	382	233	12	17	32	61	78	7,984,200
計	1,259	477	6,005	513	386	360	1,259	2,690	345,784,950

(4) 治山、林道関係被害状況(復旧実績)

工 種	笠 加		本 庄		玉 津		裳 掛		計	
	カ所	事業費	カ所	事業費	カ所	事業費	カ所	事業費	カ所	事業費
		千円		千円		千円		千円		千円
緊急治山	4	56,779	1	18,300	11	78,397	—	—	16	153,476
林地崩壊防止	1	1,790	—	—	2	10,250	1	10,429	4	22,469
林地災害防止	—	—	—	—	1	1,500	—	—	1	1,500
林道災害	—	—	—	—	4	2,087	8	5,834	12	7,921
計	5	58,569	1	18,300	18	92,234	9	16,263	33	185,366

## (5) 農地・農業用施設関係被害状況 (査定)

(単位千円)

区分	地区別		久		原		加		庄		津		掛		計	
	工種	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所
公	水路	—	—	—	—	—	—	4	2,093	14	27,689	16	28,709	34	58,491	
	農道	—	—	—	—	1	1,156	3	2,484	37	28,141	70	67,529	111	99,310	
	橋梁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,575	2	1,575	
	ため池	—	—	—	—	1	1,889	4	4,238	13	21,344	3	4,344	21	31,815	
	農地	1	166	1	297	—	—	4	788	52	28,369	32	20,390	90	50,010	
	計	1	166	1	297	2	3,045	15	9,603	116	105,543	123	122,547	258	241,201	
小・単 災(起債)	水路	—	—	—	—	—	—	3	179	4	214	1	99	8	492	
	農道	—	—	—	—	—	—	1	240	5	2,392	8	2,695	14	5,327	
	ため池	—	—	—	—	—	—	—	—	1	239	—	—	1	239	
	農地	—	—	1	59	—	—	3	211	1	35	5	309	10	614	
	計	—	—	1	59	—	—	7	630	11	2,880	14	3,103	33	6,672	
	計	水路	—	—	—	—	—	—	7	2,272	18	27,903	17	28,808	42	58,983
農道		—	—	—	—	1	1,156	4	2,724	42	30,533	78	70,224	125	104,637	
橋梁		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,575	2	1,575	
ため池		—	—	—	—	1	1,889	4	4,238	14	21,583	3	4,344	22	32,054	
農地		1	166	2	356	—	—	7	999	53	28,404	37	20,699	100	50,624	
計		1	166	2	356	2	3,045	22	10,233	127	108,423	137	125,650	291	247,873	



(6) 土木関係被害状況 (査定)

(単位 千円)

地区別		久 久 邑		今 城		豊 原		笠 加		本 庄		玉 津		裳 掛		計	
		カ所		カ所		カ所		カ所		カ所		カ所		カ所		カ所	
公 共	河川	7	21,611	—	—	1	1,640	1	4,249	10	26,910	17	40,644	13	34,983	49	130,037
	道路	5	3,457	3	2,722	8	5,024	—	—	8	6,872	14	14,512	35	48,870	73	81,457
	計	12	25,068	3	2,722	9	6,664	1	4,249	18	33,782	31	55,156	48	83,853	122	211,494
単 町	河川	—	—	—	—	1	183	—	—	2	332	1	142	2	232	6	889
	道路	3	278	3	442	2	620	5	647	6	798	8	829	8	1,472	35	5,086
	計	3	278	3	442	3	803	5	647	8	1,130	9	971	10	1,704	41	5,975
合 計		15	25,346	6	3,164	12	7,467	6	4,896	26	34,912	40	56,127	58	85,557	163	217,469

(7) 学校関係被害状況

学 校 名	被 害 内 容	被 害 額
玉津幼稚園	園地法面崩壊（長さ6m）	千円 489
裳掛 "	運動場冠水土砂流失（431㎡） 運動場法面崩壊（長さ18m）	1,040
玉津小学校	校地法面崩壊（長さ29.9m） 法面崩壊、土砂流入（33.0㎡）	4,827
裳掛小学校	放送小屋倒壊（27㎡） 校地法面崩壊（長さ13m） 土砂流入（103.0㎡） 運動場冠水、土砂流失（4,082㎡） プール設備破損	4,633
裳掛中学校	屋体コンクリート土間破損（35㎡）、校地土砂流入（113㎡）	479
合 計		11,468

(8) 公共施設の被害状況

被害主体	被害金額	被 害 の 状 況			摘 要
		発生時期	被害箇所	被害程度	
邑久保育園	千円 666	9月12日 午前	園 舎	床上浸水 タイル破損 73㎡ 職員室床破損 20㎡ 外壁、浄化槽等	保育に支障なし
邑久町立病院	300	9月11日 午後	医師住宅 看護婦宿舎	床上浸水 4戸 " 1棟	診療に支障なし
計	966				

## 第 4 防 災 活 動

### 1. 防災・救援活動の概要

9月10日東部地区において、早朝より河川の氾濫による被害発生、裳掛支所を連絡所とし、地元消防団を中心に防災活動を実施した。17:00 邑久町災害対策本部を設置して、直ちに情報連絡班により各地区の状況を把握し、対策を協議するとともに水防資材の手配をした。

11日連続的な豪雨により、東部では土砂崩れ、高潮、河川氾濫による浸水等の被害が随所に続出し、又、町西部では干田川・香登川が増水、地元消防団、町職員が一体になって水防資材を急送し土のう積による堤防補強作業が地元住民総動員で夜を徹して行われた。

12日も引続き補強作業が行われ、既にこの頃は西部低地帯は全域が浸水、水防資材の入手搬送は困難な状態であった。一方、住家の床上浸水も増加したので、一部の地域には避難命令を出し、救出作業を実施した。

13日東部一帯における急傾斜地崩壊による被害はさらに増大した。

また、西部地域では浸水部落に対し自衛隊の出動を得て舟艇による物資の配送等救援にあたった。

14日漸く減水し始め一部を残し、幹線道路の通行可能な状態となり、防疫作業にかかった。

15日より本格的に防疫、復旧作業、調査活動を始めた。

16日は裳掛地区へ自衛隊出動、住居へ流入した土砂の除去作業が始まり、本部は防疫作業、救援物資の配給作業とともに被害調査を行った。また、長島における国立療養所両園では、同島での観測雨量1,000ミリに近い記録を示す未曾有の降雨に傾斜地崩壊による被害は激甚を極め、両園対策本部の不眠不休の対応によるも、本土との救援船不通、連絡電話故障も加わり、救援活動は困難を極めた。

### 2. 救 援 活 動

#### 1) 避 難 所 の 開 設

9月12日から17日にかけて、町内の中学校・公民館・漁業協同組合・地元公会堂・愛生園・光明園内等の29カ所に避難所を開設、実人員で411人、延べ人員で1,728人を収容保護した。

避 難 所 の 主 な る 場 所 次 の と お り

邑 久	邑 久 町 公 民 館	裳 掛	公 民 館 裳 掛 分 館
”	邑 久 中 学 校	”	邑 久 町 漁 業 協 同 組 合
本 庄	公 民 館 本 庄 分 館	愛 生 園	愛 生 会 館 外 9 カ 所
笠 加	上 笠 加 公 会 堂	光 明 園	簀 池 会 館 外 12 カ 所

## 2) 炊 出 し

公民館、楽々園等で、町職員を動員して、炊出しを実施、避難所への収容者浸水孤立部落等を主体に救援を行ったが、漸次被害地域の拡大により、供給不能となり、主として救援は乾パン食に切替えた。しかし川舟、ゴムボート等を利用した運搬は困難を極め、地元臨機の処置を得て急場を切り抜けた。

### 炊 出 し 状 況

地 区	延 供 給 数	供 給 期 間
邑 久	8,275 <sup>食</sup>	9 月 12 日 ~ 15 日
今 城	120	9 月 12 日 ~ 13 日
豊 原	273	9 月 12 日 ~ 14 日
笠 加	340	9 月 12 日 ~ 14 日
裳 掛	404	9 月 12 日 ~ 14 日
愛 生 園	15,300	9 月 12 日 ~ 15 日
光 明 園	269	9 月 12 日 ~ 14 日
計	24,981	

## 3) 飲 料 水

9月11日17時、長島愛生園、水道管破裂による断水との報告を受け、直ちに県本部に対し給水船の手配を要請する。風雨強く海路の輸送困難、海上保安部の応援を求め、水道施設の復旧に至るまで対処した。

## 4) 生活必需品の給与

被災者に対し、被害の程度に応じて、全壊家屋対象者に布団、半壊家屋、床上浸水家屋対象者に毛布を配給した。

## 5) 障害物の除去

住居内の居室、炊事場等に土砂が流入し、日常生活が困難となった世帯等に対しては地元で共同撤去作業にあるとともに、自力で除去が困難な被災世帯等に対しては、自衛隊、地元消防団員の出動を要請し、重機等建設機械の借り上げを行い対処した。

## 6) 義 援 金 品

県内外の各地それぞれの団体、個人より、日本赤十字社岡山県共同募金会及び報道機関等その他民間団体を通じて寄せられた救援金品を地元部落委員、民生委員を通じて被災世帯に配布した。なお各方面から寄せられた義援金は、次のとおり。

## 義 援 金 の 状 況



↑ 日本赤十字社岡山県支部に  
寄せられた義援金品

区 分	金 額
篤 志 寄 付	1,457,000 <sup>円</sup>
日本赤十字社岡山県支部に寄せられたもの（報道関係団体に寄せられ寄託されたものを含む）	7,480,950
岡山県共同募金会に寄せられたもの （NHK岡山放送局に寄せられ、寄託されたものを含む）	4,310,000
邑久町社会福祉協議会から贈られたもの	500,000
邑久郡社会福祉協議会から贈られたもの	50,000
合 計	13,797,950

### 3. 清 掃 活 動

#### 1) し尿の収集

9月15日より、特に浸水の激しかった邑久、今城地区から、順次便所が使用できる範囲に定量収集を行うことによって、使用可能状態にし、以後従来どおりの収集とした。

#### し 尿 の 収 集 状 況 （単位 ℓ）

地区別 月日	邑 久	福 田	今 城	豊 原	本 庄	笠 加	玉 津	裳 掛	計
9. 15	9,080	—	5,900	—	—	—	—	1,500	16,480
16	7,070	—	6,480	—	2,540	1,060	2,000	820	19,970
17	11,300	900	3,770	2,650	—	4,480	1,980	—	25,080
18	10,660	1,150	8,130	3,510	1,480	2,000	—	—	26,930
19	—	200	900	2,300	1,300	6,790	500	560	12,550
20	8,910	—	150	2,000	1,990	—	—	—	13,050
21	6,850	8,570	2,980	1,200	920	—	2,140	—	22,660
22	7,710	1,970	1,290	800	4,700	—	—	600	17,070
23	2,150	—	2,400	—	—	1,650	—	1,580	7,780
24	2,000	—	200	—	—	—	—	—	2,200
計	65,730	12,790	32,200	12,460	12,930	15,980	6,620	5,060	163,770

## 2) ごみの収集

9月16日漸く一部を除き、幹線道路が開通したので、運搬処理を開始した。

## 4. 防疫活動

水の引いた浸水地区の家屋の床下、便槽およびその付近などを消毒するため、保健所、町職員で指導班を編成し、地元衛生委員被災者の協力のもとに消毒剤の配布を行うとともに、9月14日から10日間防疫活動を実施した。

消毒を実施した世帯数	延べ 1,986 世帯
配布及び使用した薬剤	
消石灰	823袋(20kg入)
グレゾール	1,280本(500cc入)
ネオミサイル	10缶(18ℓ入)

## ごみ収集状況

	車種	延台数	運搬量
9. 16	2 t車 5台	23台	41 t
	3.5 t車 1	4	11
	4 t車 2	8	19
17	2 t車 7	33	59
	3.5 t車 1	4	11
	4 t車 3	12	46
	11 t車 2	13	140
18	2 t車 8	44	79
	3.5 t車 1	4	11
	4 t車 4	30	114
	11 t車 2	16	173
19	2 t車 7	36	65
	4 t車 1	4	15
	8 t車 1	7	55
	11 t車 1	7	76
20	2 t車 3	18	32
	11 t車 1	7	76
21	2 t車 2.5	15	27
計	52.5	285	1,060

## 5. 資金のあっせん

### 1) 天災融資法による経営資金

台風17号による災害が激甚災害として指定されるとともに「昭和51年9月7日から14日までの間の豪雨及び暴風雨についての激甚災害の指定及びこれに対して適用すべき措置の指定に関する政令」が公布され、適用措置が定められた。この資金は天災融資法に基づくもので被害農家が種苗、肥料、農薬、飼料などの経営資金で、これらの資金を借入れし易いようにするため、国、県、町がそれぞれ負担して利子補給を行い低利な資金として融通した。

### 融 資 状 況

農協別	災 害 資 金	
邑久町	269件	68,000千円
本庄	102	30,000
玉津	52	25,000
裳掛	52	22,200
計	475	145,200

## 2) 農業用施設等整備資金

被災農業施設の復旧を促し、農業経営の安定を図るため、被害農業者に対し、農業近代化資金による農業用施設等整備資金を融通した。

### 融 資 状 況

農協別	農業用施設等整備資金	
邑久町	127 <sup>件</sup>	108,870 <sup>千円</sup>
本庄	16	9,230
玉津	15	14,340
裳掛	14	14,030
計	172	146,470

## 3) 災害援護資金

今回の災害による被災者に対し、「災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例」に基づき被害の程度により被災者に融資した。

### 災 害 援 護 資 金 の 貸 付 け 状 況

被害の種類及び程度	限度額	適用件数
	万円	件
① 世帯主の1ヵ月以上の負傷	35	—
② 家財等の損害		
ア、家財の3分の1以上の損害	35	11
イ、住居の半壊	50	—
ウ、住居の全壊	85	1
③ ①と②が重複した場合		
エ、①と②のアが重複した場合	70	—
オ、①と②のイが重複した場合	85	—
カ、①と②のウが重複した場合	120	—
④ 住居の全体が損壊し若しくは、流失し又は、これと同等と認められる特別の事情がある場合	120	—

## 第5 災害復旧

### (1) 復旧予算概要(昭和52年度末現在)

(単位 千円)

区 分	予 算 額	内 訳		説 明
		51 年	52 年	
・災害救助費	16,755	16,755	—	被災家屋障害物除去その他災害救助関係
・予 防 費	2,293	2,293	—	伝染病予防等防疫作業関係
・災害援護資金貸付金	4,700	4,700	—	被災世帯に対する貸付金
・災害資金利子補給補助	9,662	285	9,377	天災融資法に基づき、災害資金を融資した金融機関に対する利子補給補助金
・農業用施設等整備資金利子補給補助	4,690	124	4,566	農業用施設の被害農業者に対し、農業近代化資金をベースに上乘せの利子補給補助金
・農作物種子確保事業補助	3,261	3,261	—	被害農家の負担を軽減するため、再生産に必要な種子購入費補助
・農作物緊急対策事業補助	3,400	3,400	—	水稲ほか緊急防除に必要な薬剤費補助
・農地農業施設災害復旧費	229,571	86,244	143,327	農地災害及び農業施設の復旧事業費
・林道災害復旧費	9,469	4,819	4,650	林道復旧事業費
・治山施設災害復旧費	23,381	7,400	15,981	林地崩壊防止事業費
・土木施設災害復旧費	219,741	86,910	132,831	道路、河川復旧事業費
・教育施設災害復旧費	12,944	12,594	350	幼、小、中学校施設復旧事業費
計	539,867	228,785	311,082	



## (2) 関連事業

### ① 河川激甚災害対策特別緊急事業

昭和51年度にはじめて設けられたこの事業の適用を受け、抜本的な河川の改修計画に対処することとした。

この河川激特とは、激甚な災害（浸水家屋2,000戸以上）を受けた地域について、一定期間（5カ年程度）で河川を改修し、再度災害の防止を図るもので事業の範囲は全体事業費10億円以上で、一般被害額を最高限度額としている。

今回、国直轄事業と一体に県営事業として本事業に取組むものである。

事業計画の概要は次のとおりである。

### 事業計画の概要（県営事業）

河川名	位置	全体事業費	計画概要	流域面積	計画高水流量 ( $m^3/S$ )	浸水面積	浸水戸数	耕地面積
吉井川支川	千田川	邑久町福元 (百万円) 3,520	放水路及び河道改修L=1332m 橋梁 3 橋	44 $km^2$	215	18.2 $km^2$	2,313 戸	1,065 ha
	千町西川	岡山市乙子 2,250	河道改修L=1430m 橋梁 3 橋	47	150	17.8	2,212	1,097
	計	5,770						

### （上記の中、国直轄事業分）

河川名	位置	事業費	計画概要
千田川	邑久町福元	(百万円) 2,420	ポンプ15 $m^3/S$ 、水門1カ所
千町西川	岡山市乙子	1,650	“ 10 $m^3/S$ 、 “ 1カ所
計		4,070	

### ② 東備価播開発有料道路と災害事情

町を挙げての大事業として取組み、共用開始直前の災害であったため、良きにつき、悪きにつけ、道路と洪水の関連についての論議が出た。このため町として、水稻被害については岡山大学農学部で、工学的関係については、神戸大学工学部に専門的調査を委託し、因果関係なしの結論を得るとともに、非常時に利用できるよう取合道3カ所を設けるなど災害の経験を生かし将来の備えとした。

## あ と が き

記録をまとめていると、ゴムボートでの救援作業、激しい雨音の中で断続的に入る被害通報の電話、当時の情景が生々しく蘇えてくる。

しかしその当時の記録写真はほとんどない。急場でそこまで考えがつかなかったようだ。

今年は、二百十日も無事に過ぎ、千町平野一面の稲作の出来ばえは上々である。

「災害は忘れた頃にやって来る。平穩無事を祈るとともに、高い代償を払った一昨年の苦い経験を無にしないよう日頃から備えが必要だと思う。」

# ぶり5日、被害拡大

陽新聞

一万五千人超す

手につかぬ復旧作業

山津波、16人生き残す  
五割で3戸、3人死に2人  
押しつぶす

岡山県下水



# 寝込み襲う

3に集中豪雨

山陽新聞

生き埋めの幼児死ぬ  
岡山崩れ三戸全半壊

大坂 二上崩落 田舎根  
泥海に落ちる 田舎根  
田舎根 崩落 田舎根

# 水害地に久々の

上がる佳

# 濁流のツメ無職

# 夜あけ



山陽新聞

一遺

# 台風17号の災害記録

昭和53年9月20日

編集 邑久町役場  
発行